

名古屋丸の内ロータリークラブ  
Weekly Report

例会場 名古屋グレストンホテル TEL 052-264-8000  
例会日時 木曜日 12:30  
クラブ会報広報委員長 松尾雄二郎  
HP <http://rc.nagoya-seinan.org/>

2016-17年度RIテーマ  
会長 ジョンF.ジャム



承認 1995328  
会長 森田 正樹  
幹事 成田 勝彦  
事務局 名古屋市中区栄3-29-1  
名古屋グレストンホテル 1007号  
TEL 052-263-1324  
FAX 052-263-0730  
Email [seinar1@fancyo.cnr.jp](mailto:seinar1@fancyo.cnr.jp)

森田正樹会長 年度目標 : ロータリーに学び、参加し、楽しもう

第1039回例会	No. 39 平成29年6月1日(木)
■ ローターソング	「君が代」「奉仕の理想」
■ 出席報告	会員47名中24名出席
■ 出席率	57.14% 出席計算人数42名
■ 修正出席率	5月18日 95.35%
■ ゲスト	栄献血ルーム事業課主管 秋田治彦 様 米山奨学生 ホアン ティトウイさん

会長挨拶 森田正樹

皆さん、こんにちは。  
いよいよ6月に入り今年度最後の理事会がありました。次年度の予算案も通り、いよいよ新しい年度が始まるうとしてます。色々問題事項を先送りしましたので大変ですがどうぞ宜しくお願いします。  
本日は赤十字血液センターの秋田治彦さんを卓話にお迎えしています。皆さんは献血をしたことがありますか？私は恥ずかしながら一度もありません。本日良お話を聞いて勉強します。  
国際状況がかなりきな臭くなっている中、今日の新聞で製造業の景気が良くなっていくと書かれていたのですが、先週お話しした通り私のところはあまりピンときていません。しかし、大きな受注をしたという企業がいくつかあるようです。日本の立ち位置はこれからどうなるのでしょうか。価値観が全く違うところでの韓国との関係、国内では学校建設問題で紛糾。こんなのでほんとに日本は大丈夫なのかと不安になります。戦争だけはなんとか避けてほしいと思っています。平和な国になり、みんなが楽しく過ごしロータリーが永久に続くように願って私の挨拶とします。

<b>ニコBOX</b>	
大塚さん 特にコメントはありません。	
●本日は栄献血ルームより秋田治彦様をお迎えして、献血の現状についてお話頂きます。秋田様、ようこそお越し下さいました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。 森田会長、成田幹事、恵利、加藤、岩田、磯部、田島安藤、宮崎、西川、小菅、河原、古川、山崎、大橋、中野、水野、渡邊、安江、立石、有沢、伊藤(敬称略)	
●春の健康感謝ニコニコDay 恵利さん、小菅さん、大塚さん	
本日合計 55,000円	

6月の祝福		
誕生日	結婚記念日	
5日	中嶋俊博さん	西川さん、武山さん
7日		古川さん
8日	加藤 豊さん	
9日		岩田さん
10日		永井さん
16日	水野裕善さん	
17日	小菅 誠さん	
21日		長谷川さん

米山奨学金

米山奨学生のホアン ティトウイさんに奨学金6月分をカウンセラーの小菅 誠さんからお渡ししました。



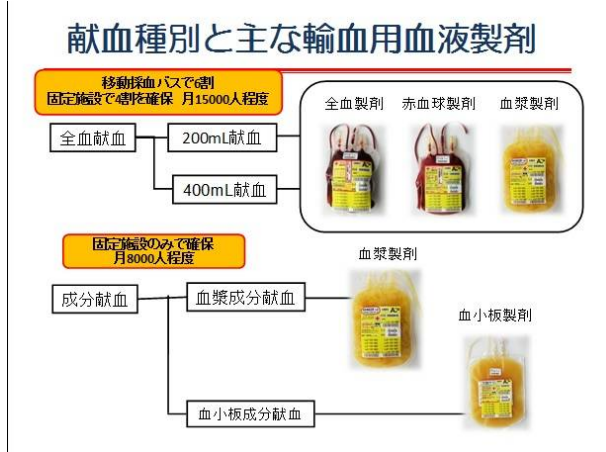
幹事報告 成田勝彦

次週より次年度上半期会費の請求書を配布致しますので宜しくお願い申し上げます。  
今期、財団の年次寄付一人180ドルを達成するため、カレーライス例会の食事差額分を寄付することに理事会の承認を頂きました。

卓話

「献血減少の現状」  
愛知県赤十字血液センター 栄献血ルーム 事業課主管 秋田治彦  
本日はお時間をいただき有難うございます。  
栄献血ルームは平成2年に開設以来27年の歴史があります。以前輸血はアメリカからの輸入血液を利用していました。しかし、アメリカは売血制度のため、非常に危険

性が高くしかも非加熱でしたので、ウィルスが活性化した状態で患者さんに輸血され、そして罹患するという状況でしたので、血液は国内で確保して自給自足しようという動きになりました。そのためにまず日本全国にベッドが10台以上の大型の献血ルームを作り、成分献血の推進をして自給自足にそなえようという経緯でございます。



皆さんに献血ルームや献血バスで輸血して頂いた血液は、北陸3県分は石川製造所へ、東海4県分は東海北陸ブロック血液センターへ運ばれます。



残念な事に平成28年度の全国の献血者数は、24年度に比して約40万人、愛知県では同じく27000人も減少しているという現状でございます。献血者減少の要因としては少子高齢化の進展による献血可能人口(16~69歳)の減少があります。現状は献血者の54%を40代以上が占めていて、このままいくと2027年には献血者85万人分の輸血用血液が不足するという推計が出ています。そこで献血者確保の方策として献血構造改革に取り組み献血推進方策が行われています。



## 献血推進の取り組み 少子化・高齢化に対応した献血推進方策

「献血構造改革」平成17年からの5カ年計画で目標を定めて、組織的な献血促進体制により輸血用血液を確保する



- ・若年層献血(10.20代献血者)の推進
- ・複数回献血の推進
- ・集団献血の確保

「献血推進2014」平成22年度から26年度までの取り組み  
・学校における献血セミナーの充実 ・献血ルームの環境改善



「献血推進2020」平成27年度から32年度までの取り組み  
・30代の献血目標を具体的に定めた→7.6%

30代の人口数×7.6%=80,220人(愛知県) →27年度から32年度まで毎年確保する

同時に輸血用血液と献血者の安全性の確保にも取り組んでいます。輸血用血液は医療に欠くことのない必須の医薬品です。どうか名古屋丸の内ロータリークラブの皆様にもご協力をお願い致します。



## 第12回 理事会議事録

平成29年6月1日(木)12:00~

名古屋クレストンホテル 例会場

出席者 森田、岩田、田島、亀井、上野、恵利、立石、安藤、川原、磯部、成田、武山

議題

- 次年度予算案承認の件 承認
- カレーライス例会(食事代 3000円)  
差額分財団寄付の件 承認
  - ・7/7 出席者 28
  - ・9/1 出席者 31
  - ・10/6 出席者 29 × 1000 = 169,000円
  - ・11/10 出席者 26 (\$ 1536.36)
  - ・12/1 出席者 31
  - ・1/12 出席者 24 一人180ドル達成
- その他  
次年度上半期会費請求書配布の件(6/8~)  
事務局賞与の件

例会のご案内

◎6月8日(木)第1040回例会 会員卓話 松尾雄二郎さん

◎6月15日(木)第1041回例会 退任挨拶